

## 第2回住用町内学校の在り方検討委員会 会議録

日 時	令和7年8月29日（金）13時30分～16時30分
場 所	住用総合支所 3階大会議室
出 席 者	○住用町内学校の在り方検討委員会委員 15名全員 ○事務局 9名 (教育部長、住用事務所長、教育総務課長、学校教育課長、学校教育課指導主事、住用地域教育課長、住用地域教育課係長、住用地域教育課主事)
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議事（事務局説明）</p> <p>（1）日程説明、アンケート調査等</p> <p>（2）現地（学校）視察</p> <p>○市小中学校 ⇒ 住用小学校 ⇒ 住用中学校 ⇒ 東城小中学校</p> <p>4 その他（次回日程等）</p> <p>5 閉会</p> <p><b>【日程説明・アンケート調査等】</b></p> <p><b>事務局</b></p> <p>アンケート調査の設問について説明をする前に、本委員会で共通認識として、説明させていただきます。</p> <p>昨年、町内の児童生徒保護者や未就学児保護者を対象としたアンケートでは、小学校、中学校の学校統廃合の可否について主にお聞きした次第です。</p> <p>今回委員皆様へのアンケート調査につきましては、学校の統廃合の形態について、統廃合を選んだ場合の学校の位置についてもお聞きするものです。</p> <p>ただし、今回はPTAを代表して委員会へ参画している方もいらっしゃるのでお伝えしますが、まず、学校が統廃合されても複式学級の解消には至らないということ。また、中学校における教科外指導についても解消されること。中学校部活動についても、競技の選択肢がないことです。この件については、再度、児童生徒保護者や未就学児保護者へも誤解のないために改めてアンケート調査を実施予定しております。</p>

## 事務局

次に、学校再編がもたらすソフト面について説明します。現在、住用地区では認定こども園が建設中で、完成された場合、ひとつの園で就学前の子ども達が一緒になって生活を過ごすことになります。今後一つになった場合、子ども達が友達をつくり今後乳幼児から継続して義務教育を受けることができ子ども達の関係性や環境、異年齢とのコミュニケーションの機会が今以上に増えていくということ。

それから、小学校、中学校が一つの敷地内で生活することで、小学校、中学校の先生方が一堂に子供たちの成長を見届けられそれによって児童生徒、保護者が安心して学校生活が送れること。それから生徒指導上、不登校であったり、いじめであったり、問題行動等も学校生活の中で、カバーできていけるのではということ。また、人間関係です。この小学校、中学校の九年間の生活を通して一つの環境の中で、人間関係の様々なトラブルとか、ストレスとか、そういったのも。軽減できるのではないかということ。それから、地域の特性を生かした学校活動が展開しやすくなること。

以上のようなことがメリットとしてあげられるのではと思っております。まあ、そういったことで、この後、ええ学校の視察をしていただくわけですが、お手元にお配りしております参考資料について説明します。

資料では、義務教育学校と小中一貫校との違いについてという内容がまず示されていると思います。

義務教育学校とか小中一貫校というのはどちらも小学校、中学校の九年間を一体的に教育する学校を意味しております。

ただし、制度上の違いがございます。例えば、義務教育学校であれば学校教育法で、定められた新しい学校の種類であり、また、小中一貫校は現在の小学校と中学校がさらに連携をしたり、併設したりし、一貫した教育を行う学校ということを目指しております。

義務教育学校が小学校、中学校が一緒になり、校長先生はお一人になります。そして、九年間のスパンで教育をされますので、いわゆる入学式1回、卒業式1回と普通であれば、小学校で入学式、卒業式。中学校で入学式、卒業式ということになりますが、これが義務教育学校だと、小学校の最初で入

学式をして、卒業式は中学校卒業する時にということです。9年間のスパンで考えますので、1年生から9年生までという形になります。そして、柔軟な学年編成やカリキュラム編成、そして中一の壁といったところが少しでも緩和されるというところが期待されます。

逆に小中一貫校ですけども、小中一貫校につきましては先ほど申しました通り、小学校と中学校を連携させたり、併設したりして、一貫した教育を行うということになります。

ただし、義務教育学校と違いまして、六三制は基本ということで変わりませんけれども、運営自体の形態は様々工夫ができるということです。

今申し上げたような内容でまた比較していただければと思います。

あと資料3・4ページにつきましては、それぞれのメリット、そしてまた課題ですね。デメリットではなくて課題です。ということで、まとめられておりますので、後ほどご確認していただきたいと思います。

この後、各学校の視察を行いますが今説明したことにも気にながら学校を視察していただければと思います。

### 委員長

今、説明いただいたことは最初に三つあります、一つは、統合したとしても、小学校の方ですよ。複式学級は解消しないということ。また、中学校の部活は受け入れられないということ。そして当然その教師の数も増えることもないということ。それでは、何のために統合するのかというものになるかもしれません。

例えば、小学校の中学校が同じカリキュラムをした場合、例えば私は鹿児島大学の教育学部大学で国語を教えてますが、教育学部では小中一貫について講義をしております。

また、平成16年から薩摩川内市の教育行政に携わっていたときに、こんな例がありました。小学校の先生で中学校の免許をもっていて武道の資格も持っていると。その武道が得意な小学校の先生が、中学校の体育の手伝いをする。

あるいは、中学校の英語の先生が小学校の英語のお手伝いをする。そういう

ったことで。カリキュラム、つまり一つ屋根の下で小中一貫校とか義務教育学校という制度の中に、学校を一つポンと作る感覚です。施設分離型だったとしてもそうです。だから、卒業式が一つになり運動会が一緒になるというようなことです。これはどの学校制度を決めるかは子供たちの問題ではなくて、大人が考えてあげることです。大人がそういったカリキュラムをどうするかによって、児童生徒を統廃合によって集めるだけじゃなくて、その後何をすれば子ども達にとっていい方向に導けるだろうといったようなアイディアを出していく。そのような説明だったように思います。

アンケートではこんな工夫もできるのではないか。いや、こんな心配点もあるのではないか。そのような事をぜひ書いて出していただきたいと思います。

### ～学校視察（町内4校を視察）～

市小中学校 ⇒ 住用小学校 ⇒ 住用中学校 ⇒ 東城小中学校

#### 〈委員意見〉

##### 委員長

それでは再開いたします。

出発する前にアンケートについて統廃合のメリットと課題があるのかを踏まえて説明頂きました。それぞれ質問なりご意見なり賜りまして、今日は答えを出すというよりも意見を受け止めて次回にまたまとめて出させていくというゴールでよろしかったでしょうか。何かご質問、意見ありましたらお願ひします。

##### 委員A

今日はお疲れ様でした。仮に統合という方向で進むという形で各学校見て回ったのですが、教室の数を考えると小学校が完全複式でいっても最低3クラスは必要。中学校は複式が1学級で単式が1学級ということは2学級必要。併せて特別支援学級で小学校において知的と情緒が1学級、中学校で知的と情緒が1学級。ということを考慮すると9学級は必要。9クラスある学校ではないと厳しいのかなと思ったところです。クラスの学級数の観点からそ

いう視点で今日見て回りました。

### 委員長

ありがとうございました。他の委員の方、いかがでしょうか。

### 委員B

お疲れ様です。最初、視察に出る前の会の中で一貫校と義務教育学校の説明がありましたが、実際まだ決まってはいないという認識でよろしいでしょうか。小中併設校は今、市小中、東城小中とあるわけですが、これが一貫校となった場合に住用小・住用中というのは、敷地が別々の一貫校というのもありという前提で、場所がどこになるかもわかりませんしどういう形態になるかわからないが、一貫校ありきでもないわけですよね。小学校は小学校でどこかに、中学校は中学校でどこかにという選択肢が残されている前提で話を進めていって良いということですか？その確認でございました。

### 委員長

核心を突いた質問を頂きました。今、小学校は小学校で集めて中学校は中学校で集めて。別々に集まる。あるいは一緒にするか。

そこはまだ決まっていないというご確認だと思いますが、事務局の方からこれについて何かご説明ございますか？アンケートも絡めて。

### 事務局

文言も含めてこの問い合わせ方は問題ないかなと我々としては捉えています。ただ中学校も小学校もそれぞれ統合するという選択肢の問い合わせがございません。これは1回目の検討会の中で委員から意見がでたのですが、小学校は地域との関りが密接で強い。例えば中学校だけ統合という考え方はないのかなという意見もございましたので小学校でまとめる中学校でまとめるという選択肢の聞き方は入れていません。自由意見の場所でも良いですし、そういうところで書いて頂ければこちらとしても参考になるのかなと思っています。

### 委員長

ちなみにバスに乗ってみて各学校見て回ったのですが学校と学校の間が

遠いなと感じたのですが、20分～30分はかかるって考えて良いんですかね。それで坂道が多い。夜になると街灯もないし部活をして遅くなると暗いという状況もありますね。事務局からの説明でも中学校を統廃合しても選択肢がない事が浮かんだ場合には、ぜひ自由記述に書いて頂きたいという答えで受け止めてよろしいですか？

### 事務局

はい。お願ひします。

### 委員C

2点質問です。先ほど義務教育学校と小中一貫校の説明があったのですが、併設校と小中一貫校の違いを説明願いたい。あと2点目です。事務局にお尋ねですが、1回目の会合のスケジュールが出たときに9月の段階で学校PTA説明会を住用地区は実施するというスケジュールが出ておりましたがこれは予定通りなのか。それとも説明会は延ばすのかというのをお尋ねします。

### 委員長

まずスケジュールの方からお願ひします。

### 事務局

説明が漏れていて申し訳ございません。資料のP10ですね。お開きください。こちらのスケジュールを皆さんにお諮りしたかったんですけども、学校、PTA、住民説明会を年度内で3回ほど協議を予定していましたが、学校の形態、学校の位置、アンケートにてもしかりですが、まさに今アンケートとして聞いている中で、まだ実際にはっきりとした結論が出ていない中で先に住民説明会をしたところでどういった内容の話をするのか。まあしっかりと計画案や基本方針（案）が固まったうえで住民説明会をすべきでないかと考え、それが我々のスケジュール的におおよその流れで年内、第3回、4回検討会までは議論を進める必要があると認識しております。その上で第5回検討会では意見をまとめに入りますので第4回検討会が終わったところで住民説明会や保護者説明会、あるいはパブリックコメントを実施していくたいと考えていたところです。

**委員長**

確認ですが住民説明会は今のところいつ頃に予定していますか？

**事務局**

住民説明会は来年の1月に予定しています。また保護者説明会は学校PTAの場をお借りして実施予定です。第4回目が終わった後に学校の先生方にはPTAを集める機会に我々が説明をという形をとりたいと思います。

**委員長**

それでは2点目の質問についてお願ひします。

**事務局**

参考資料の2ページ目に一覧表がありますけどもこれでは補えないというところで少し補足させていただきます。小中一貫校は基本的に小学校と中学校ということになるわけですが、日常的に小学校と中学校が連携しあえるので色々と協力して問題を解決し、あるいは学力向上や、生徒指導の充実を図ることができるのが小中一貫校と捉えていただいていいのかなと思います。小中併設は特にそういうものは意識しないですけども、例えば東城小中などは併設校の分類になりますので、イメージとしては東城小中学校をイメージいただければと思います。一貫校になりますと冒頭に申し上げた9年間のスパンで小学校、中学校常に連携をとりながらそしてまた9年間のスパンで児童生徒をみていける。そういう良さもありますので、P2の一覧表を再度確認していただければと思います。

**委員D**

私も中学校のことで質問したかったことがあります。教育委員会が出しているこの資料ですが、東城中学校においては常勤の方が5人、本当は6人配置されています。6人別々の教科を教える者がいるということです。

この住用地区の3つの中学校は1校の中学生ですが、本校には支援学級があるために職員の数が多く配置されています。そのために本校は中学校の先生に少し小学校の方に応援をお願いし、中学校の先生が小学校にはいるというような交流は今も出来ております。

この住用地区においてこのままの人数で中学校の先生の人数が大きく変わ

るというのは少し怖いなと。今年は支援学級がひとつできたから2人配置が増えてありがたいと思ったりしています。小中併設の良さは中学校の先生も小学校と一緒に教育ができる。小学校も中学校が何しているかわかるというようなそういった良さはすごくあるなと思っています。

### 委員長

イメージとしては東城小中学校。同じ館の中にいるので日常的に交流がある。中学校の先生が小学校で授業する為には当然小学校の免許が必要でヘルプとして入ることができます。逆もそうです。

ですから小中一貫校の場合はできるだけ小中の免許を2つ持っている人を配置していくというような流れですね。そういったまずどちらも免許を持つ教員を配置することが考えられる。

それから一人でも支援の必要な子がいれば学級を増やさなければいけない。そういった専門性のある先生を呼べる可能性があります。ですから子供と一緒にやってくことによってまず先生方の専門性が若干変わっていくこともあります。

それから施設一体型と分離型がありますが、施設分離型だとどうしても学校間を行ったり来たりしなければいけない。

例えば皆さんご存じですか。鹿児島大学には附属小学校・中学校がある。大学がある。幼稚園もある。でも行き来はない。そこで何を連携しているとかというと年に1、2回くらいしかない。先生方は結局施設が隣にあっても近くにあってもカリキュラムが一体化しておかないとお互いの良さを分かち合うことができない。

ですから施設一体型だと一つの中に入っているのでそこがうまくいく可能性がある。

さらにそれを日常的に連動させていくためには、例えば小学校の4・3・2制というのが小中一貫教育のポイントですけども、4年生が一旦リーダー性を持つ。そして小学校の5年生と6年生と中学1年生が一緒に動く。ですから小学生は中学生の部活に参加することもある。なぜかというと部活でガラッと生活リズムが変わる。小学校まではテレビを見て宿題をすればいいんですけども、そこに中学校は部活が入ってくるから朝起きる時間と夜眠る時間が変わってくる。生活リズムが狂って中一ギャップの原因になっていく。それを防ぐためには早く部活に慣れさせておきたい。部活の生活です。

それから中学校の先生とできるだけたくさん小学校の先生も関わっていきたい。例えば中学校の先生方はですね。今は○○君とか○○さんとか呼ぶようになったのですが昔は○○と呼び捨てだった。そうしないと統率できない。

ところが小学校の子供たちは中学校に行ったとたんに呼び捨てされる。嫌だなどおもうかもしれない。たったそれだけかもしれないですがそれも文化。小学校と中学校の文化の違いがやっぱりある。だから同じ館の中で日常的にどんどん縮めていく。で4年生がトップになって中学生1年がトップになって中3がいる。で4・3・2制。例えば卒業式なんて一緒に小学校の卒業式に中学校の兄姉が登壇して中学校によくぞ来てくださいました。いじめは絶対しないから一緒にやっていこうねと呼びかける。中学校の卒業式の時は小学校がお祝いする。

とにかく一つの屋根の中で生活していく中で色々なことがさらに密着していくそこに先生方の専門性を高めていく。

あるいは部活のお手伝いが小学校も今後できるかもしれない。そのかわり中学校の先生が英語、あるいは書道例えれば技術家庭科、水泳の補助、こういった専門性を生かした教育の質を上げる可能性も出てくる。

小中一貫になると今もされていると思いますが教育をいろんな人たちが専門的に係ることによって上げていこうというメリットは確かにある。ただ課題もある。先生方が忙しくなる。先生方が忙しくなるよねというんですがそれはそうですがでも、そうすることによって生徒指導の面がもしクレームが少なくなり、生徒指導面がすこし減るのであれば今、大学生が教員になりたくない理由が家庭とのコミュニケーションが嫌だからです。クレームが来るから生徒指導が大変だと思います。

でもそうやって小学校、中学校の先生が全員で小学校1年生を見守り、全員で中学校3年生の姿に責任を持つ。小学校の先生は高校入試の発表の時に午前中に電話を掛けてはいけないことを知らない。中学校の先生はずっと待っている。単純なそういった文化の違いを埋めていく。そういう良さが今まで見てきた中であります。でもそれは乗り越えていかなければいけない課題があります。

そこは教育委員会にしっかり予算面で協力してもらう。教育委員会の方も覚悟が必要。中学校の先生は小学校とは違って出口がそこにあります。確かにと思うのでぜひ小学校の観点から。中学校の観点から。そして奄美の併設

校の観点からどういったメリットや課題があるのか。デメリットといふ方はよくない。子どもにとってデメリットがあるならしない方が良い。乗り越える課題がある。大人が乗り越える課題がある。だったら私たちが乗り越えていかなければならない。

### 委員長

ほかにご質問ございませんか？

### 委員E

小中併設校と小中一貫校どちらが予算を多くもらえるのか。

### 事務局

おそらく小中併設校と比較するとちょっと上なのは一貫校なのかなと。先ほどお話もありましたが行き来がしやすい。ましてや小中両方の免許を持っていると授業にどんどん入っていけるので子どもたちも、より専門的に学べますしそしてまた先生方が子供たちとかなり密着しますので充実していくということでは併設校より一貫校の方が効果は大きいのかなと。

### 委員長

そこは私からもお願いしたくて、例えば段差がある学校がある。それはバリアフリーの観点からは厳しい。先ほど小中学校を見たときに段差がある。それから洋式トイレがない学校がある。それから電気のルクス。暗い学校がある。だから学校が安心安全でやるのであれば、どこに集めたりあるいは一緒にするのであればしっかりと予算を取って本当に一人一人が安心安全で過ごせるようなトイレであるとか廊下の作りであるとかそれから保健室の導線であるとか 保健室に救急車がすぐに道路に運び出せるような導線とか。色々改善していくところはある。奄美は曇天が多いので暗いまじやいけない。それから Wi-Fi がちゃんとつながるか。色々な事を予算取って改善していくという課題は今日見て周って色々感じた。とても大切な質問ですので。教育委員会も予算を捻出していくことも必要です。

### 委員長

ほかに何かございませんか。

### **委員F**

中学生が小学校の兄弟と連携し、良い事とか悪い事とか自分たちで解決する場合もありますね。私としては小中一貫性があった方が良いと思う。

アンケート1回目の保護者アンケートでもほとんどの方が統合したほうが良いと回答している。

### **委員長**

本日の協議を踏まえてアンケートに是非ご意見をたくさん書いて下さい。

それでは事務局にお返しします。

### **事務局**

委員長ありがとうございました。また、委員皆様におきましてはご意見ありがとうございます。

次回の委員会開催は、10月30日（木）14時より住用総合支所 3階大会議室にて開催します。第3回検討委員会では、委員皆様からのアンケートを集約し示し協議したいと思いますので宜しくお願ひいたします。

期限までのアンケート調査提出にご協力をお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。